

3 | 選考方法

本学では、入学者受け入れの方針「アドミッション・ポリシー（4ページ）」に基づき、各コースの入学者選抜課題（24ページ以降参照）および入学希望理由書・活動報告書の内容を、多面的・総合的に評価・判定いたします。
 なお、具体的な評価方法・評価の観点等については次のとおりです。

4 | コース別試験科目における配点と「学力の3要素」評価方法

学力の3要素

①～③は次の内容を示します。

- ① 知識・技能
- ② 思考力・判断力・表現力
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

◎◎は「学力の3要素」における評価の比重を示します。

- ◎ 特に評価する
- 評価する

昭和音楽大学 音楽学部

■：試験科目 選択：該当科目よりいずれかを選択して受験

志望学科	選抜方法		総合型選抜／特待生選抜／学校推薦型選抜／一般選抜 共通							一般選抜									
	入学者選抜科目		主科実技課題	小論文・実技課題等	音楽理論※2	ソルフェージュ課題	副科ピアノ	面接 (入学希望理由書・活動報告書を含む)※3	一般科目※4										
	コース	配点 学力の3要素	100			100			100			100※5							
		①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③			
音楽芸術表現学科	作曲・音楽デザイン【パターン①】	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	■※1	◎	○	■※1	◎	○	■	◎	◎	■	◎	◎	
	作曲・音楽デザイン【パターン②】	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	■※1	◎	○	■※1	◎	○	■	◎	◎	■	◎	◎	
	サウンドプロデュース	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	■※1	◎	○	—	—	—	■	◎	◎	■	◎	◎	
	指揮	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	—	—	■	◎	○	■	◎	◎	■	◎	◎	◎	
	声楽	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	選択	◎	○	選択	◎	○	選択	◎	○	■	◎	◎	
	声とことばの創造表現	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	—	—	—	—	—	—	■	◎	◎	■	◎	◎	
	ピアノ演奏家	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	選択	◎	○	選択	◎	○	—	■	◎	◎	■	◎	◎
	ピアノ指導者	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	選択	◎	○	選択	◎	○	—	■	◎	◎	■	◎	◎
	ピアノミュージッククリエイター	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	選択	◎	○	選択	◎	○	—	■	◎	◎	■	◎	◎
	ピアノ音楽	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	選択	◎	○	選択	◎	○	—	■	◎	◎	■	◎	◎
	オルガン	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	選択	◎	○	選択	◎	○	—	■	◎	◎	■	◎	◎
	電子オルガン	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	選択	◎	○	選択	◎	○	—	■	◎	◎	■	◎	◎
	弦・管・打楽器演奏家	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	—	—	—	—	—	—	■	◎	◎	■	◎	◎	
	弦・管・打楽器	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	選択	◎	○	選択	◎	○	選択	◎	○	■	◎	◎	
	ウインドシンフォニー	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	選択	◎	○	選択	◎	○	選択	◎	○	■	◎	◎	
	ジャズ	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	—	—	—	—	—	—	■	◎	◎	■	◎	◎	
ポップ&ロックミュージック	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	—	—	—	—	—	—	■	◎	◎	■	◎	◎		
音楽芸術運営学科	アートマネジメント	—	—	—	■	○	◎	—	—	—	—	—	■	◎	◎	■	◎	◎	
	舞台スタッフ	—	—	—	■	○	◎	—	—	—	—	—	■	◎	◎	■	◎	◎	
	ミュージカル	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	—	—	—	—	—	■	◎	◎	■	◎	◎		
	バレエ	■ ◎ ◎	■	◎	◎	—	—	—	—	—	—	■	◎	◎	■	◎	◎		
	音楽療法	—	—	—	■	○	◎	—	—	—	—	—	■	◎	◎	■	◎	◎	
	音楽教養	—	—	—	■	○	◎	—	—	—	—	—	■	◎	◎	■	◎	◎	

※1～※5は11ページ参照。

志望学科	選抜方法		総合型選抜／特待生選抜／学校推薦型選抜／一般選抜 共通																								一般選抜		
	入学者選抜科目		主科実技課題 (合唱指導者コース 声乐を含む)			主科に関する課題 (音楽美技・作文等)			音楽理論 ※2			ソルフェージュ課題			副科ピアノ			面接 (入学希望理由書・ 活動報告書を含む) ※3			一般科目 ※4								
	コース	配点 学力の3要素	100			100			100			100			100			100			100※5								
		①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③							
音楽科	デジタルミュージック	■	○	○	—	■※1	○	○	■※1	○	○	■※1	○	○	■	○	○	■	○	○	■	○	○						
	サウンドプロデュース	■	○	○	—	■※1	○	○	—	—	—	■	○	○	■	○	○	■	○	○	■	○	○						
	声乐	■	○	○	—	選択	○	○	選択	○	○	選択	○	○	■	○	○	■	○	○	■	○	○						
	声とことばの創造表現	■	○	○	—	—	—	—	—	—	—	■	○	○	■	○	○	■	○	○	■	○	○						
	合唱指導者	■	○	○	—	—	—	■	○	○	■	○	○	■	○	○	■	○	○	■	○	○	■	○	○				
	ピアノ	■	○	○	—	選択	○	○	選択	○	○	—	—	—	■	○	○	■	○	○	■	○	○						
	電子オルガン	■	○	○	—	選択	○	○	選択	○	○	—	—	—	■	○	○	■	○	○	■	○	○						
	弦・管・打楽器	■	○	○	—	選択	○	○	選択	○	○	選択	○	○	■	○	○	■	○	○	■	○	○						
	ウインドシンフォニー	■	○	○	—	選択※1	○	○	選択※1	○	○	選択※1	○	○	■	○	○	■	○	○	■	○	○						
	ジャズ	■	○	○	—	—	—	—	—	—	—	■	○	○	■	○	○	■	○	○	■	○	○						
	ポップ&ロックミュージック	■	○	○	—	—	—	—	—	—	—	■	○	○	■	○	○	■	○	○	■	○	○						
	バレエ	■	○	○	—	—	—	—	—	—	—	■	○	○	■	○	○	■	○	○	■	○	○						
	音楽教養	—	—	—	■	○	○	—	—	—	—	—	—	—	■	○	○	■	○	○	■	○	○						
	音楽と社会	—	—	—	■	○	○	—	—	—	—	—	—	—	■	○	○	■	○	○	■	○	○						

【注意】各入学者選抜の課題内容は、必ず該当コースのページでご確認ください。

- (※1) 選抜制度により試験科目に含まれない場合があります。
- (※2) コースにより「楽典」が指定されている場合と、「楽典」「ポピュラー音楽理論」のいずれか1つを選択する場合があります。詳細は各コースの入学者選抜科目を参照してください。
- (※3) 特待生面接の評価方法も含まれます。
- (※4) 一般選抜のみ受験科目に含まれます。一般科目は(1)本学で行う「国語」「英語」「小論文」の中から1科目を受験、または(2)大学入学共通テスト成績利用のいずれかを選択してください。
- (※5) 大学入学共通テスト成績利用を選択した場合、受験した科目のうち最も高得点の1科目を100点満点に換算した点数を使用します。

「評価」「判定」について

「入学希望理由書・活動報告書」の評価について

本学ではすべての選抜方法において「入学希望理由書・活動報告書」の提出を必須としています。
この資料は面接において活用し、次の配点区分とします。

【配点】 面接……………90 入学希望理由書・活動報告書……………10

なお「調査書（またはそれに代わるもの※）」「推薦書（学校推薦型選抜のみ）」は、面接で活用します。
※高等学校卒業程度認定試験合格証明書と合格成績証明書・卒業証明書・成績証明書・成績通信簿のコピー等

判定方法について

多面的・総合的な評価を行うにあたり、すべての選抜科目の平均点を用いて判定を行います。

- ① 主科実技の課題が複数課されている場合は、主科実技課題の平均点で評価します。
- ② 特待生の選考は、特待生面接を含むすべての入学者選抜科目の平均点を用いて判定します。

総合的な英語能力の評価について

本学ではすべての選抜方法において、総合的な英語能力を評価するため、結果を保持している者に対し、英語に関する外部検定試験のスコアの提出を求めます。

一般科目「国語」記述式問題における出題の意図・評価する能力について（一般選抜のみ）

本学で行う一般科目「国語」は、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価するため、自らの考えを立論し、それを表現するなどの記述式問題を含む試験問題を出題します。出題の意図と評価する能力は次のとおりです。

- 出題の意図**
- ① 文章を正確に読み取ることができるかを問う。
 - ② 日本語を正しく運用する能力があるかを問う。
- 評価する能力**
- ① 論理的に自分の言葉で表現することができるか。
 - ② 出題の指示通りに記述することができるか。

一般科目「小論文」記述式問題における出題の意図・評価する能力について（一般選抜のみ）

本学で行う一般科目「小論文」は、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価するため、自らの考えを立論し、それを表現することを目的として出題します。出題の意図と評価する能力は次のとおりです。

- 出題の意図**
- ① 芸術文化についての関心や基本的な知識があるかを問う。
 - ② 芸術文化をとりまく社会の動き、社会問題等に関心があるかを問う。
 - ③ 与えられた課題を理解し、自身の経験に照らして思考する力があるかを問う。
 - ④ 日本語を正しく運用する能力があるかを問う。
- 評価する能力**
- ① 論理的に自分の言葉で表現することができるか。
 - ② 出題の指示通りに記述することができるか。